

ターンテーブルアキュライザーの活用(10)
ーターンテーブルシートとの関係(4)ー

1. 始めに

前報(9)に引き続き、ターンテーブルシートによるターンテーブルアキュライザー TACU-1 の効果の確認をいたします。

2. ターンテーブルアキュライザーTACU-1 の試聴方法

前報(9)に引き続き、ThoresnTD124 における、TEAC 製の和紙のシート TA-TS30UN での TACU-1 の効果を確認します。今回は ThoresnTD124 を使用しますが、アースは、Crystal E の導入(3)で報告した条件にしています。

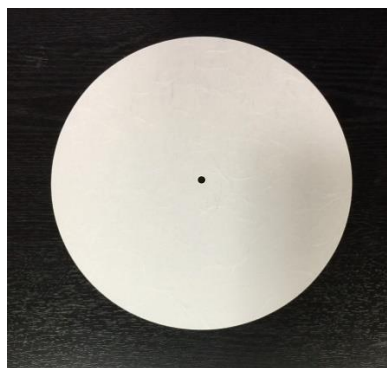
アナログプレイヤーは ThoresnTD124 を使用し、ターンテーブルシートを下記に替えて、TACU-1 の効果の確認を行います。TA-TS30UN は、仕様の異なる上下の面がありますので、仮に A 面、B 面として両方試聴していきます。

フェルトシート (標準)



TA-TS30UN (A 面)

TA-TS30UN (B 面)



音源は下記を使用します。

ドイツグラモフォン MG8333/4

ニコロ・パガニーニ 24 の奇想曲

サルヴァトーレ・アッカード (Vn)
ドイツグラモフォン MG9551
ベートーベン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)
ゲザ・アンダ (ピアノ)

3. ターンテーブルアキュライザーTACU-1の試聴結果

上記両盤とも、TELDEC、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

A面の場合、24の奇想曲は、TACU-1無ではCrystal Eの効果もあって、ヴァイオリンの細かい擦弦音も十分に出ていますが、TACU-1有では、より細かい音も聴き取れボウイングの様がリアルになります。

選帝侯のソナタは、TACU-1無ではCrystal Eの効果もあって、ピアノの響きの豊か過ぎるくらいの美しさがありますが、TACU-1有では打鍵がより引き締まってピアノの響きのニュアンスが分かりやすくなります。

B面の場合、24の奇想曲は、TACU-1無ではA面に比べると音の少し肌理が粗いかなという感じですが、Crystal Eの効果もあって、ヴァイオリンの細かい擦弦音もかなり出ており、TACU-1有ではA面でTACU-1有にしたときの音に近づきます。

選帝侯のソナタは、TACU-1無ではA面とほとんど変わらない感じですが、Crystal Eの効果もあって、ピアノの響きの豊か過ぎるくらいの美しさがありますが、TACU-1有では打鍵がA面と同様引き締まってくるものの、少し引き締めが弱い感じです。

4. まとめ

ThoresnTD124におけるTEAC製の和紙のシートTA-TS30UNでのTACU-1の効果はA面、B面とも認めました。

TACU-1の効果は、これまでのフェルトシートとはよく似ていますが、TA-TS30UNの方がやや抑制が効いており、A面、B面はそれほど大きな差はありませんが、A面の方がやや肌理が細かい感じもしますので、しばらくフェルトシートに替えてTA-TS30UNのA面で聴きこんでいきます。

以上